≪共に学ぶ≫ 第 36 回市民教養講座（2025, No1）

テーマ:「磁石の不思議」

日時: 6 月 29 日（日）　10:00～12:00

会場: 旧若葉台西中学校北棟 1 階木工室

講師:小林久理眞先生

（現）立命館大学客員研究員、静岡理工科大学名誉教授

資料代:300 円（当日徴収）小・中学生（無料）にもわかるように話してもらいます。

申し込み:定員:50 名受付開始 6 月 9 日（月）から事前申し込み

お名前,ご住所,電話番号を記載して

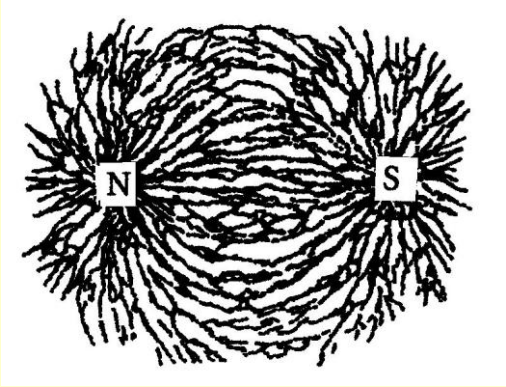
①wakabadaisp1@yahoo.co.jp へのメール申し込み

②045-921-0404（VOSC）への FAX での申し込み

但し:感染症予防のため、マスク着用して下さい。

こちらかも申し込めます

磁石には２つの「極」があります。よくご存知の「N 極」と「S 極」です。この世界は、どうも２つの反対の「極」のペア（対）で出来ているようです。電気でも、２種類の「＋」と「－」という電荷があります。学校では、「－」の電荷の正体は「電子」という素粒子で、それだけ取り出すことができるよ、と教えてくれます。「＋」の電荷も「陽子」という素粒子で、それだけで取り出すことができると言います。では、磁石の「N 極」と「S 極」の正体はなんでしょうか。実は、誰も正体を取り出したり、見たりした人はいません。でも、いつでも、２つの「極」はペアでしか現れません。N 極が現れる時には、必ず、反対側に S 極が現れます。しかも、２つの「極」は、「磁力線」という線でつながっています。今日は、「N 極」と「S 極」の２つが存在することの不思議を感じるような話をします。



参考図　磁石の N 極と S 極の間に発生する磁力線

主催：電子顕微鏡でミクロを観る会（VOSC 内）

（この事業は東京応化科学技術振興財団の科学教育の普及啓発助成事業の助成を受けています）

@@@